

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: http://www.konbukuroike.com

2025年2月

第130号

主な予定

2月17日(月)

10:00~12:00

アドバイザー会議

於：柏区画整理事務所

3月2日(日)

12:00~16:00

保全活動報告会

於：千葉大学柏キャンパス

3月13日(木)

10:30~12:00

まちづくりシンポジウム

於：ロイヤルパインズホテル千葉

2024年度チョウ類モニタリング調査結果報告

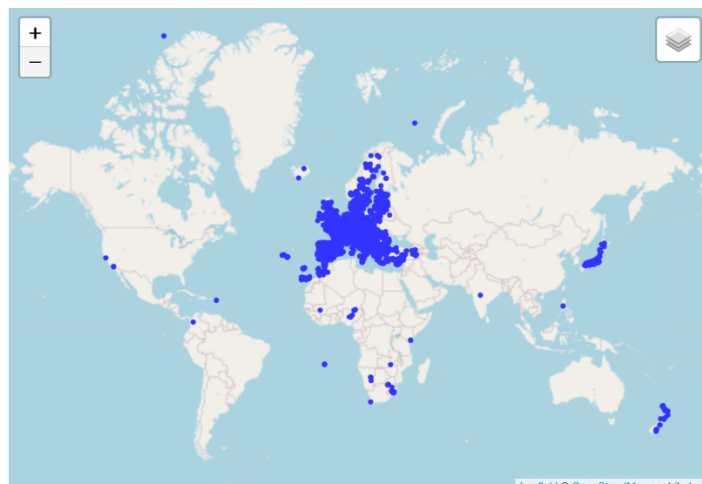
徳永 さと子

チョウ類のモニタリング調査に参加してちょうど1年が経とうとしています。開始した当初は、チョウの種類が分からなかったり、ハチの巣の影響を受けてルートを変更したり、天候に左右されたりと、難しさを感じる場面もありましたが、NPO 法人日本チョウ類保全協会よりアドバイスを頂きながら、活動もなんとか形になってまいりました。ここまで調査にご協力をいただきました会員の皆様、ありがとうございました。

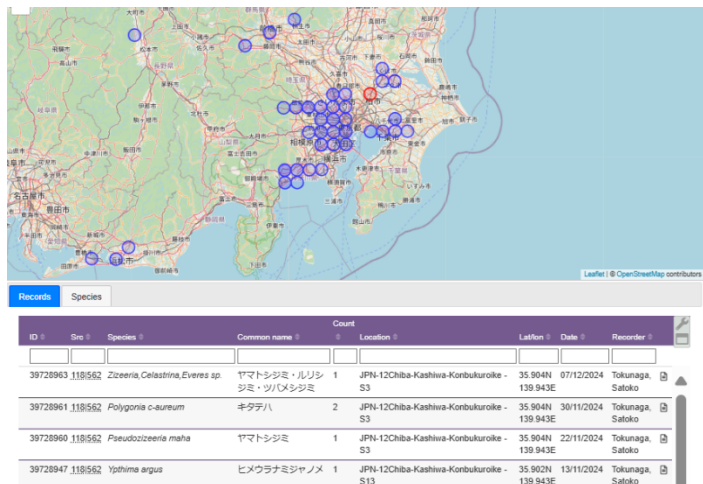
3月~12月までの10ヶ月を調査期間として、2024年度は20回のモニタリングを行いました。内、eBMS (Butterfly Monitoring Scheme) に報告したのは、調査ルートを変更した7月30日以降の10回の記録のみですが、この調査記録は既にeBMSのウェブサイト上に作成した当園のページに入力し、現在はオンラインで世界中のどこからでも見る状態になっています。

(<https://butterfly-monitoring.net/ja/node/77>)

サイトを開くと世界地図が表示されており、調査に参加している調査地が青い丸印で示されています(第1図)。プロジェクトがスタートしたヨーロッパの国々での調査活動が盛んなのは一目瞭然ですが、それ以外の国々と比較して日本における参加件数が多いことが見て取れます。



第1図



地図を拡大して、見たいエリアの青丸印をクリックすると、その調査地のデータを閲覧することができます。第2図は、当園（赤丸部分）のデータを表示した画面です。周辺ではつくば市や、佐倉市、習志野市などでも調査が行われている他、首都圏では多くの参加が見られます。一方で、まだまだ参加の少ない地域も多く、今後取り組みが広く知られて参加が増えていくことを期待したいです。

第2図

第1表

2024年度 チョウ類のモニタリング調査結果

調査期間： 2024年3月2日～12月7日

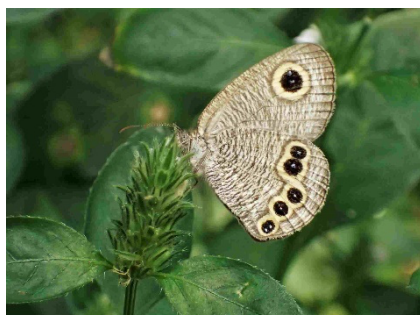
調査参加者計： 27名

種名	頭数計	Mar	Mar	Mar	Apr	Apr	Apr	May	Jun	Jul	Jul	Jul	Aug	Oct	Oct	Nov	Nov	Nov	Nov	Dec	
		2	16	27	6	21	26	4	1	6	20	30	3	5	22	1	9	13	22	30	7
1 アオスジアゲハ	9							1		2	4	1	1								
2 アカボシゴマダラ	22							1	2	5	3	3	7		1						
3 イチモンジセセリ	1									1											
4 イチモンジセセリ類	3											1		1	1						
5 イチモンジチョウ	19								9	3	3	3	1								
6 ウラギンシジミ	4							1		1	1				1						
7 カラスアゲハ	2							1					1								
8 キアゲハ	1							1													
9 キタキチョウ	27					6	2			3	3			1	5	5		2			
10 キタテハ	12		3	1											1	2	1	2		2	
11 コジャノメ	2					1							1								
12 コチャバネセセリ	1							1													
13 コヒカゲ	3									1	2										
14 ゴマダラチョウ	1												1								
15 コミスジ	22					3	2	8	3	1	2		3								
16 サトキマダラヒカゲ	12							1	2		1		8								
17 ダイミョウセセリ	7							3	1		1			1	1						
18 ツバメシジミ	1												1								
19 ナミアゲハ	25					8	4	9	2	2											
20 ヒカゲチョウ	8								2					1	4	1					
21 ヒメウラナミジャノメ	28						3	17	1	2	3				1			1			
22 ヒメジャノメ	1															1					
23 ベニシジミ	5					2	1		2												
24 ムラサキシジミ	4										3							1			
25 モンシロチョウ	3						2			1											
26 ヤマトシジミ	78					7	6	4	1	2	7	4	4	11	8	9	2	12	1		
27 ヤマトシジミ・シルビアシジミ類	1																				1
28 ルリシジミ	3										1	1	1								
29 ルリタテハ	1									1											
	306	0	3	1	0	27	22	46	25	25	34	13	29	15	23	18	3	18	1	2	1

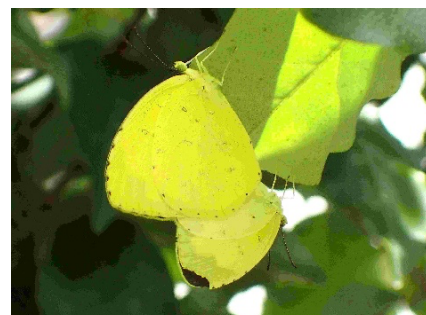
今回の調査で観察できたのは 29 種 306 頭（内 eBMS に報告をしたのは 7/30 以降、太枠内の記録 21 種 123 頭）でした（第 1 表）。一番多く記録されたヤマトシジミは、そのほとんどが明るく開けたワタラセツリフネソウ草地周辺で確認されています。次いで特徴のある飛び方のヒメウラナミジャノメ、黄色が目目を引くキタキチョウ、ツツジの花の咲く頃に吸蜜に訪れるナミアゲハなどが春から初夏にかけて多く観察されました。他に、湿り気を帯びた園路に降りて給水をしているイチモンジチョウや、早春に草地で日向ぼっこをしているキタテハ、樹液に集まるサトキマダラヒカゲなども園内ではおなじみのチョウです。



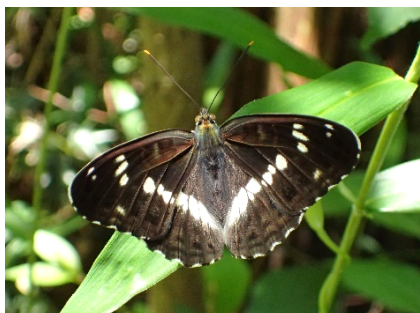
ヤマトシジミ



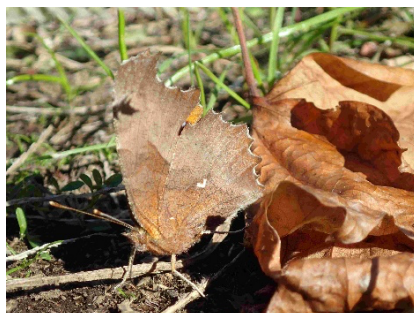
ヒメウラナミジャノメ



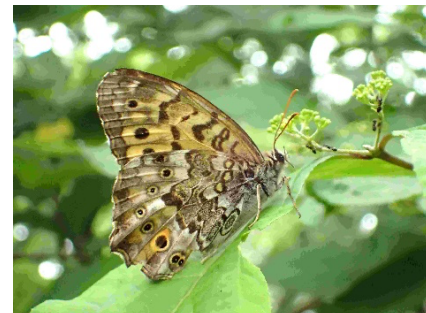
キタキチョウ



イチモンジチョウ



キタテハ



サトキマダラヒカゲ

今回記録された 29 種という数字が多いか少ないかは一概には評価できませんが、2018 年～2019 年に実施された千葉県昆虫談話会による昆虫相調査では園内で 53 種が確認されています。今後は可能な範囲で調査頻度を増やし、種数や頭数の動向に注目していけたらと考えております。

新入会員紹介

後藤 秀夫さん

参加動機：自然保護に関心がある

趣味・好きなこと：軽登山等の自然散策

取り組んでみたいこと・分野：植生調査にも徐々に携わっていききたい

貢献できそうなこと：公園整備

ひとこと：よろしく申し上げます